

めぐりっと紫波

「“新世紀未来宣言”の持つ魅力」

みなさんは紫波中央駅正面左側に立つ看板をゆっくりご覧になったことがありますか。そこに書かれているものが「新世紀未来宣言」です。

私が紫波町を初めて訪れたのは2000年6月。

町制施行45周年を記念した環境シンポジウム「知ろう活かそう行動しよう 環境新世紀」にパネラーとして出席するためでした。テーマは「地域からのメッセージ」。中学生の開会宣言に続き、東京、茨城、沖縄での取組の紹介、そして紫波町からも多くの活動報告がありました。



その中で特に印象に残ったのが、新世紀未来宣言でした。

「日本文化の源流は農村の山ひだにありました。(中略) 自然と共存し、自然を崇拝してきました。(中略) 先人の知恵の結晶ともいえるべき生きるための哲学があり(中略) モノを大切にすところ、生命を育むところ、郷土の文化と伝統を伝えていくところを百年後にも引きついでいきます。(中略) 紫波の環境を百年後の子どもたちによりよい姿で残し伝えていきます。」

自然を崇拝し、先人の知恵を守り、生きるための哲学を持つ・・・

これは、現在の環境破壊に対して行政だけが新たな環境政策を推進すればよいのではなく、そこに暮らす一人一人が先人の知恵、すなわち生活文化を振り返り、継承していくことによって、環境が守られることを示唆しています。

このシンポジウムのあと、水分神社境内への車の直接乗り入れが禁止されました。それは境内の大杉の根を守るため。水を育む森の木を粗末にして、水の恵みを得ることはできないことを知ってほしいという願いがあったのかもしれない。

100年後に伝える・・・

これは一行政がどう頑張ってもできることではありません。町民一人一人がその目的と価値を理解し、未来の子どもたちへの責任を自覚することでもあるからです。町民一人一人が小さなことも無駄と思わず、そして明日からではなく今すぐに行動すること、それをやりながら次の世代へ伝え、育成していかななくては100年後に伝えることなどできません。幸いなことに紫波町ではこの宣言をここに留め、今も実践している人たちが大勢います。しかし、次世代への継承については不安もあります。来年この宣言から20周年を迎えるにあたり、初心に帰るとともに、これまでの活動を振り返ってみたいと思います。

(一社) 地域パートナーシップ支援センター 小野紀之 (日詰在住)

めぐりっと紫波では2020年の“新世紀未来宣言”20周年を前にして、町が取組んできた「循環型まちづくり」を確認し、さらにこれからの課題について6回シリーズで掲載していきます。

自然環境や生活環境について知りたい人・環境を守る活動に興味のある人

「環境マイスター」になりませんか

環境マイスター養成講座の受講生募集しています！

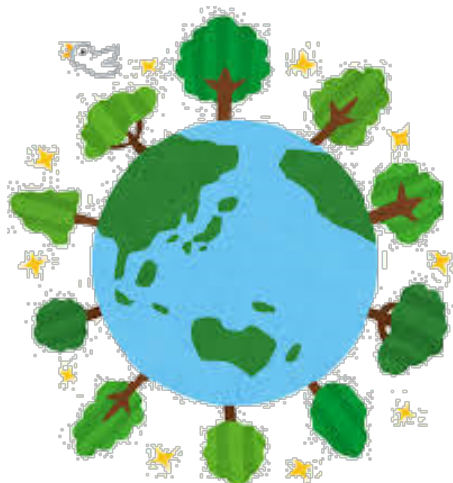
町は、100年後の子どもたちに良好な環境を引き継ぐことを目指し、町の皆さんとともに「循環型まちづくり」を進めています。この目的を達成するため、地域における身近な環境を評価し、環境保全活動の水先案内人としての役割を担う「環境マイスター」を養成しています。これまでに203人が認定を受け、地域や学校などで活発に活動しています。

今年も7月から10月までの間に6回の養成講座を開きます。環境に関する基礎知識や評価の方法などが学べる多彩な講義を予定しています。自然環境や生活環境について知りたい人、環境を守る活動に興味のある人など、皆さんの応募をお待ちしております。

日程・主な内容

- 第1回 7月13日(土) 開講式、環境マイスターの役割について、水質調査・水生生物調査の実習
- 第2回 7月27日(土) 町の環境政策について、町の川や街路樹、公共施設について、資源循環施設の見学
- 第3回 8月17日(土) 上水道・下水道についての講義、施設見学
- 第4回 8月31日(土) 気象情報の活用について、再生可能エネルギーの講義、施設見学、地球温暖化について
- 第5回 9月14日(土) 樹木・山野草・昆虫などの観察、指導実習
- 第6回 10月12日(土) 普通救命講習、閉講式（認定証授与）

※開催時間は回によって異なることがありますが、おおむね午前9時から午後3時までです。また、日程、内容ともに変更になる場合があります。



◆応募資格 次の要件をすべて満たす人

- ・令和元年度内に満16歳以上になる人
- ・町内に在住、在勤、在学しており、地域内において環境学習や環境保全のための活動を行うことができる人、あるいは活動をしてみたいと考えている人
- ・全回をとおして受講する意思のある人

◆募集人員 20人程度

◆受講料 無料

◆応募方法 住所・氏名・性別・生年月日・連絡先を

電話またはファクシミリ、電子メールによりご連絡ください。

◆応募期間 7月5日(金)まで（紫波ネット掲載の募集期間から変更になりました）

◆応募・問い合わせ 環境課環境室 ☎672-2111 内線 2251

Fax672-2311

mail : kankyo@town.shiwa.iwate.jp



紫波町の豊かな自然を体験しよう！！

第29回環境探検隊 ～水と光のシャワーをあびて！～

6年前の豪雨で大きな被害を受けた沢内川に、どんな生き物がすんでいるのか、川に入ってさがしてみます。

日時 2019年7月27日(土)

9:00～15:00ころまで

場所 ・ラ・フランス温泉館集合
・水分 沢内川

対象者 小学生とその保護者 8家族

参加費 1人500円(おやつ代他)

服装 めれてもいい服装とズック(長靴はダメ)と帽子

持ち物 昼食、飲み物、雨具、着替え(服、靴等)

申込締切 7月12日(金)

申込方法 紫波みらい研究所へ、参加される方の氏名・年齢・性別・住所・連絡先(Tel)を記載して

① Fax(019-671-2243)へ送信

② E-メール(miraiken@shiwa-mirai.com)へ送信

※定員に達し次第締め切りとさせていただきます。



あかざわ川自然学校



赤沢川の水生生物調査をとおして、紫波町の豊かな自然を知ってもらいます

日時 2019年7月28日(日)

10:00～13:30

場所 ・紫波町赤沢公民館
・赤沢川

対象者 小学生(保護者同伴)先着60名

参加費 一家族1,000円(豚汁付)

持ち物 おにぎりなどご飯類、マイはし

参加申込受付期間は7月2日(火)～6日(土)

申込方法 環境マイスター紫波へ、参加される方の氏名・年齢・性別・住所・連絡先(Tel)を記載して

① Fax(019-613-6114)へ送信

② 参加申込書(小学校へ配布済)を郵送

③ E-メール(e-meister.shiwa@tiara.ocn.ne.jp)へ送信

※定員に達し次第締め切りとさせていただきます。



親子でたのしく環境について考えよう！

しわエコまつり

入場無料!!

日時：2019年7月6日(土)

午前10時～午後3時

場所：紫波町情報交流館(オガールプラザ)

体験したり、作ったり!!

知っているかな？

ごみの分別クイズ



リサイクルおもちゃ

紫波の木の枝で作ったパチンコあそび

おしゃれなふろしきの包み方



木のクラフト★

オリジナルマイバック★

コネコネマイせっけん★

「ベジブロス」ってなんだろう？



ほかにも楽しいエコ体験メニューが

たくさんあるよ!! (★は有料です)

フードバンク開催!

フードバンクって？

賞味期限内でまだ食べられる食品を集めて、生活困窮者や児童・障がい者施設などに無償で提供する活動のこと。

エコまつり当日は、食品の回収を行います。

「もったいない」から「ありがとう」へ

※賞味期限が1ヶ月以上あり、未開封のもの。

(缶詰、レトルト食品、乾物、お菓子、調味料、お茶、飲料など)



スタンプラリーに挑戦!

体験して、お話を聞いて
スタンプをもらって
景品をゲットしよう!!
(無くなり次第終了)

主催：しわエコ連絡会 (紫波町環境衛生組合連合会・紫波町ごみ減量女性会議
・環境マイスター紫波・NPO 法人紫波みらい研究所)

共催：紫波町

お問合せ：しわエコ連絡会事務局 TEL 019-671-2244(紫波みらい研究所内)



だかのしわ
けら情報
まもは
すごこ
覧ま
いた
ちり

めぐりっと紫波は、紫波町産業部環境課の委託で発行しています